

専大校友を訪ねて

テレビ番組のプロデューサー・ディレクター

栗林 真希さん (旧姓齋藤、平27ネット情報)



「向ヶ丘遊園駅前のハンバールショップで4年間、アルバイトに励んだことも在学中の思い出。マネージャーとしてクレーム対応も任され、臨機応変に対応する力とコミュニケーション能力は、さまざまな人と関わる今の仕事にも役立っている」と笑顔で振り返る。

小学生の頃から熱心なラジオ番組で、元々はラジオ番組の放送作家志望だったが、「若いうちにはまず業

界を知ることが大事」と、媒体を限定せずに就職活動を行った。そうして入社した番組制作会社「NEXT P」でテレビの仕事に魅了された。新人時代はアシスタントディレクターとして現場を駆け回り、その後、ディレクターとしていくつもの番組を担当。実績が認められ、入社8年目にしてプロデューサーの重責を担う。

「専大では、メディアコンテンツ制作を学ぶ福富忠和(現・文学部教授)プロジェクトに所属した。学生らで運営するコミュニティテレビ「かわさきワンセグ」での番組制作が原点だ。カメラや音響などの裏方業務を広く経験する一方、得意の技術と機転の利いた対応でリポーターとして活躍。鳳祭や学部のプロジェクト発表会の模様を生き生きと伝えた。

人気番組を制作「プロジェクト」の経験が原点に

「これからも自分がやりたいことを突き詰めていく。今まで注目されてこなかったものに光を当て、その価値や魅力を多くの人に知ってもらいたい」と言葉を押ませた。

番組制作を円滑に行わせるため、プロデューサーには全体を俯瞰することが求められる。現実的な視点を持ち、番組制作を統括するプロデューサーの仕事は、リアリストの自分に向いていると栗林さん。ディレクターや演出家が望む環境を、お金、人、スケジュールをやりくりしながら整える作業はパズルのようで難しく面白い。どの番組も苦労して作り上げる分、放送後に多くの反響が寄せられたり、SNSで話題になったりと達成感を感じる」と充実の表情を見せる。

卒業生を招き、専修大学の「今」を感じてもらおうホームカミングデーが10月30日(日)、神田キャンパスで開催される。会場開催は3年ぶり、神田キャンパスに校友を招くのは初めてになる。また、特設サイトを設けて配信(ライブ・オンデマンド)も行う。会場は神田キャンパス10号館、10時開会。最上階の相馬永胤記念ホールでは、世界各地を研究している本学教員や学生によるトークライブ、エンターテインメント企画「黒門寄席」が行われる。黒門寄席は、田ノ中星之助さん(平4文)による講演、木村勝千代さん(平2文)による浪曲の2本立て。

図書館Knowledge Baseでは神保町をテーマにした秋の企画展、学生のビブリオバトルを予定している。また、神田キャンパスツアーでは、学生スタッフが2020年完成の神田10号館を案内する。

ホームカミングデー 10月30日(日)

特設サイトから配信(ライブ、オンデマンド)



3年ぶりの会場開催 神田キャンパスで

■ 主なイベント 配…配信あり		
オープニングセレモニー 配	10:00~	16階 相馬永胤記念ホール
チャリーディング演舞 配	10:20~	16階 相馬永胤記念ホール
トークライブ 「世界の捉え方を変えてみよう」 配	10:45~ 12:15	16階 相馬永胤記念ホール
Global Careerイベント 「留学OB・OGによる座談会」	12:30~ 13:30	15階 グローバルフロア
第3回神田神保町黒門寄席 配	13:30~ 15:00	16階 相馬永胤記念ホール
秋の企画展 「神保町ってどんな街？」	終日	13階 Knowledge Base

問 校友課 TEL 03-3265-7579

育友会から応援メッセージ

箱根駅伝の予選会が10月15日に開催されるのを前に、今年も育友会の全国の支部から応援メッセージが届いた。写真。いざ、箱根へ! もう無理...の先にある可能



予選会は3年ぶりに、陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、立川市内を経て国営昭和記念公園にゴールする21・0975のコースで開催される。主催者は沿道や会場での応援自粛を呼び掛けており、育友会は今年もテレビなどで応援することになっている。

専修人の新しい本

市民活動論 ボランティア・NPO・CSR
大澤史伸 著
「ボランティア論」の3部構成で、それぞれの概念、歴史、現状、課題を詳述。社会福祉法人や学校法人を対象に行った調査・研究の記録も収められ、参考になる。



現代の複雑化した社会問題を解決するために「公的セクター」「営利セクター」「民間非営利セクター」

柔道部OB 関さん 全日本実業柔道個人 3位に入賞 講道館杯に挑む



賞状を手に笑顔の関さん

専修大学職員で、柔道部OBの関龍聖さん(令4商)が、8月の第52回全日本実業柔道個人選手権大会の男子66kg級で3位に入賞した。講道館杯全日本柔道体重別選手権大会(10月29、30日、千葉市)の出場権を獲得し、国内最高峰の大会に向けて、稽古に励んでいる。関さんは1年次に全日本学生柔道体重別選手権大会の同級で5位、4年次に東京学生柔道体重別選手権の同級で3位となったほか、主将としてチームをけん引。現在は教務課で学生の相談に応じながら、柔道部でコーチとして指導にあたっている。大会では、手足の長さを生かして組み手争いで優位に立ち、準決勝までオール一本勝ち。「試合ごとの間隔が短く、体力的に厳しかった。準決勝は一つの判断ミスが敗因と分析する。自身4年ぶりの出場となる講道館杯に向け、「目標は優勝。環境ではなく、自分の努力次第で強くなれることを後輩たちに示したい。学生や校友の励みとなるような結果を残し、自身の経験を部に還元したい」と語った。

専修大学・石巻専修大学「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金

本学が進めている事業のうち、右記の7項目を募金目的の柱としています。また、それぞれの募金目的について、具体的に用途を明示しております。これにより皆様が、本学の活動のうち、より強化・充実させたいと思われるものを具体的に指定し、支援することができる仕組みとなっております。皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

募金の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

専修大学募金局 TEL: 03-3265-3157 E-mail: bokin@acc.senshu-u.ac.jp

募金目的
A 国際交流の推進支援
B 学生スポーツ活動の振興
C 学生への経済的支援
D キャリアデザインプログラム充実支援
E 学生のボランティア活動支援
G 教員の研究活動支援
H その他

※「A03 日本・ラオスプロジェクト事業募金」、「F 多目的ホール・シート募金及びチャリア募金」は2021年度で終了しました。

校友会情報

- 選 挙 結 果
- 徳島県美馬市長選挙 (10月2日投票) 新加美一成氏(昭55商) 新
- 静岡県支部連合会総会 (11月6日) 15時
- ホテルアソシア静岡 (静岡市)

『鳳翼』刊行

校友会誌は10月15日刊行の101号より誌名を『鳳翼(ほうよく)』と刷新し、誌面も全面リニューアル。校友相互の親睦と情報発信の、より一層の充実を図っていく。「われら専修人」では、『装苑』編集長の児島幹規さん(平4経済)と、(株)モリサワ・書体デザイナーの小針優弥さん(平26ネット情報)によるスペシャル対談を掲載。

